

令和2年度水質事故対応訓練を実施しました

平成20年に群馬用水の水路内へ油を不法投棄される事態が発生し、群馬用水管理所は事態の収束に全力で取り組みました。

これを契機に関係機関と連携し、油流出を想定した水質事故対応訓練を毎年行っています。

群馬用水は、県央地域7市町村約6,300haの農地と8市町村約100万人の飲み水を潤す非常に重要な施設です。

<平成20年の油不法投棄の概要>

1. **発見状況**：平成20年6月17日の朝6時30分頃、赤城幹線水路内において油が流れていると連絡。
2. **対応状況**：幹線水路等にオイルフェンスを設置し、油の回収（吸着処理）、被害拡大防止、監視を実施。発生から24日後の7月11日に態勢を解除。（群馬用水土地改良区、消防等の関係機関にも協力を頂く）
3. **原因究明**：水路沿いで油が投棄された形跡が発見されたが、原因者等は不明。
4. **被害**：農業・水道において被害は発生していない。

今年度は、10月21日（水）にNPO法人自然エネルギー・環境協会から講師に招き、群馬用水管理所職員13名で水質事故対応訓練を実施しました。今年度は、コロナ禍の影響を考慮し、群馬用水利水関係機関、関係市町村、協力業者等との合同開催は中止としました。

訓練では、座学として講師から油と中和剤と呼ばれる資材の特性や油が流出した際の対処方法など「油漏洩事故対策」について講義を受け、その後、オイルフェンスの連結方法、ロープワークの指導を受けました。

実地訓練では、指導を受けたロープワークの練習やオイルフェンス設置訓練を2班に分かれて実施しました。

ロープワークやオイルフェンスの設置は、一朝一夕で身につくものではありませんので、今後もこうした訓練を継続し、職員の防災力向上、技能の習熟に努めてまいりたいと考えております。

※ 群馬用水では、幹線水路の各所にオイルフェンス等吸着資材の配備を行っています。

油の流出事故があった場合には、被害の拡大防止のために迅速な対応が重要となります。水路等で油が浮いているのを見かけた際は、群馬用水管理所までご一報お願いいたします。

TEL：027-251-4266

[訓練状況：群馬用水榛名流況内敷地にて]

① 講義

NPO 法人自然エネルギー・環境協会より油の特性等による実演を交えた講義を受けました。



② 講義

油が流出した際のオイルフェンスの張り方のポイント等、模型を用いた講義を受けました。



③ オイルフェンスの連結

NPO 法人自然エネルギー・環境協会による実演を交えた講義で、吸着型と違うタイプのフェンスの連結方法の講義を受けました。



④ ロープワークの練習

ロープワークの基本ともいえる「もやい結び」と「巻き結び」の説明を受け、繰り返し練習しました。



⑤ 設置訓練状況その1

油を回収する場所を想定し、斜めに張るよう意識して設置を行いました。(2班に分かれて実施)



⑥ 設置訓練状況その2

潜り込んだ油を想定し、講義で受けた張り方のポイントを意識して、2重に設置しました。

